

signature

Medal

各論演習 17-1

問1)

モリアーティ製作所は、マイリンゲン村に本社を有し、そこから徒歩で行けるライヘンバッハの滝の近くに工場を有している。本社と工場はそれぞれ独立した会計をとっている。以下の資料にもとづき、当月（3月）に係る【設問1】～【設問2】に答えなさい。

<資料>

① 本社と工場の取引

材料の購入は、本社が行い、そのすべてを工場へ送付している。この際、内部利益は付加していない。

工場で製造された製品のほとんどは、工場から本社の製品倉庫へ送付している。この際、製造原価の10%の利益を加算している。なお、3月1日における本社の製品倉庫残高はゼロであった。

② 3月1日における工場の元帳諸勘定

	残高試算表		(単位：円)
材料	5,000	本社	17,000
仕掛品	10,000		
製品	2,000		
	<u>17,000</u>		<u>17,000</u>

③ 3月の取引

1. 本社が購入した40,000円の材料を工場で受け入れた。
2. 材料を払い出した（直接材料：30,000円、間接材料：12,000円）。
3. 工場従業員への給与支給は25,000円、うち4,000円は預り金である。本社にて21,000円の小切手を振り出した。
4. 工場で労務費を計上する（直接労務費：20,000円、間接労務費5,000円）。
5. 製造間接費を各製品に配賦した（直接労務費の130%）。
6. 本社で機械等製造設備の減価償却費を9,000円計上し、この旨を工場に通知した。
7. 製品が完成した（製造原価：74,000円分）。
8. 製造原価75,000円分の製品を本社へ送付した。

【設問1】 3月の工場において行われる仕訳を行いなさい。ただし、解答に使用する勘定科目は、下記（勘定科目）から選ぶこと。

(勘定科目)

本社 ・ 材料 ・ 仕掛品 ・ 製品 ・ 賃金 ・ 製造間接費 ・ 内部売上 ・ 内部売上原価

【設問2】 3月に工場が本社へ納入した製品のうち、88%が3月中に企業外部へ販売された。3月末日のモリアーティ製作所における内部利益控除後の製品残高及び材料残高を求めなさい。

解1)
【設問1】

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				
6.				
7.				
8.				

【設問2】

製品残高 円

材料残高 円

